

平成29年度事業報告書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

社会福祉法人志木市社会福祉協議会

目 次

<社会福祉事業>

1	法人運営に要する経費	-----	1
2	地域福祉に要する経費	-----	4
3	生活福祉資金貸付事業に要する経費	-----	9
4	相談支援事業に要する経費	-----	10
5	法人後見事業に要する経費	-----	12
6	成年後見支援センターに要する費用	-----	14
7	地域活動支援センターに要する経費	-----	16
8	志木市児童センターに要する経費	-----	18
9	宗岡子育て支援センターに要する経費	-----	20
10	学童保育クラブに要する経費	-----	22
11	居宅介護支援事業に要する経費	-----	24
12	訪問介護事業に要する経費	-----	26
13	志木市福祉センターに要する経費	-----	28
14	志木市第二福祉センターに要する経費	-----	30

<多機能型事業>

15	多機能型事業所（生活介護）に要する経費	-----	32
16	多機能型事業所（就労継続支援B型）に要する経費	-----	34

<公益事業>

17	地域包括支援センターに要する経費	-----	36
18	志木市総合福祉センターに要する経費	-----	40
19	宗岡第二公民館に要する経費	-----	42

<収益事業>

20	自動販売機の設置に要する経費	-----	44
----	----------------	-------	----

サービス区分	1 法人運営に要する経費
--------	--------------

事業の概要 社会福祉法人志木市社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織管理を行う部門として、各グループ間との連携を図る事業を推進した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	52,196,325	職員人件費
事業費支出	2,086,852	広報事業、表彰事業他
事務費支出	5,518,315	事務管理費
事業活動支出計	59,801,492	
積立資産支出	13,120,348	運営調整基金へ(13,034,775) 運営調整基金利子(32,000) 災害ボランティア基金利子(53,573)
法人運営から繰出	800,535	地域福祉、相談支援へ
支出合計	73,722,375	

2 重点施策への取り組み

社会福祉法人制度改革において求められている経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化など、信頼され、安定した法人運営ができるよう、理事会、評議員会等の組織運営体制を整備した。

3 主要な施策の成果

(1) 法人運営・役員活動

経営委員会、理事会、評議員会、監事会を開催して経営に関する協議を進めるなど、法人として継続的な運営をするための協議・体制整備を行った。

① 会議等

ア、経営委員会 2回

イ、理事会 4回

回数	実施日	出席者／定数 上段 理事 下段 監事	議案番号	主な内容
第1回	5 / 31	14 / 15人 2 / 2人	第12号 13 14 15 16 17	評議員選任・解任委員の選任について 評議員選任候補者の推薦について 平成28年度決算及び事業報告書の承認について 平成29年度第1回補正予算について 委員会設置規程の一部を改正する規程について 定時評議員会の招集について
第2回	6 / 23	12 / 15人	第18号 19	会長の選定について 副会長の選定について

		2 / 2人	20 常務理事の選定について
第3回	9 / 15	14 / 15人 2 / 2人	第21号 経理規程の一部を改正する規程について
第4回	3 / 13	15 / 15人 2 / 2人	第1号 定款の一部を変更する定款について 2 委員会設置規程の一部を改正する規程について 3 役員等の報酬及び費用弁償支給規程の一部を改正する規程について 4 事務局組織規程の一部を改正する規程について 5 事務決裁規程の一部を改正する規程について 6 経理規程の一部を改正する規程について 7 権利擁護推進事業運営規程の一部を改正する規程について 8 指定訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程について 9 平成30年度予算及び事業計画について 10 法人登記事項の変更(従たる事務所の廃止)について 11 評議員会の招集について

ウ、評議員会 3回

回数	実施日	出席者/定数	議案番号	主な内容
第1回	4 / 5	16 / 19人	① ②	志木市社会福祉協議会について 評議員の役割について
第2回	6 / 23	14 / 20人	第2号 ~16 17 ~18 19 20	理事の選任 監事の選任 平成28年度決算及び事業報告書の承認について 平成29年度第1回補正予算について
第3回	3 / 29	15 / 20人	第1号 2 3	定款の一部を変更する定款について 役員等の報酬及び費用弁償支給規程の一部を改正する規程について 平成30年度予算及び事業計画について

エ、監事会 1回

② 団体との渉外活動

- ア、総会 8回
- イ、新年会 8回
- ウ、寄附 4回
- エ、行事 9回
- オ、後援活動 4件

③ 寄附金の受け入れ 33件、887,024円

(2) 事務局活動

常勤職員7人分の人件費及び事務所の維持管理費など、必要な費用を支出した。

② 職員の人件費並びに事務局運営のための経費 7人分

- ② 法人及び事務局運営のための会議・研修への参加 3件、 2人参加
- ③ 市・団体関係会議への参加 16件、 16人参加

(3) 実習生・職場体験の受け入れ

- ① 相談援助実習（社会福祉士） 3大学、計3人、延べ52日間
- ② 中学生職場体験 2中学校、計4人、延べ6日間

(4) 組織強化活動

法人組織を強化するため、会員の募集や福祉功労者表彰、職員研修を行った。

① 会員募集及び募金募集

- ア、地区委員会 2回
- イ、会員募集説明会 5回
- ウ、特別会員加入実績 847,000円
- エ、町内会別会員加入実績 5,881,800円
- オ、赤い羽根募金実績 4,203,939円
- カ、歳末たすけあい募金実績 2,496,504円

② 福祉表彰

- ア、福祉功労者表彰式典 16人、6団体
- イ、県社会福祉大会

知事表彰	5人、3団体
大会会長表彰	4人、2団体
共同募金会長表彰	2人、2団体

- ウ、全国社会福祉大会 2人

③ 職員研修

- ア、新任研修 1回、19人出席
- イ、災害ボランティアセンター図上訓練 1回、7人出席

(5) 広報活動

社協だよりの発行やホームページの運営等、広報活動を行った。

① 社協だよりの発行

- ア、広報編集委員会 12回
- イ、定期発行 年6回、各26,000部（全戸配布）

② ホームページの運営

3月31日現在アクセス数：63,903件

(6) 福祉サービス適正運営

第三者委員を配置し、苦情解決及び事故防止に努めた。

- ① 第三者委員会 1回、3人出席
- ② 苦情受付件数 15件（第三者委員による対応なし）
- ③ 事故発生件数 25件

サービス区分	2 地域福祉に要する経費
--------	--------------

事業の概要 小地域を基盤とした福祉活動を支援することにより、福祉コミュニティの形成を図った。また、地域住民の福祉への理解を図るとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア活動の育成、援助を行った。さらに、公的制度を補完する在宅福祉サービスを展開した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	10,987,445	
事業費支出	8,768,009	地域福祉・ボランティア・在宅福祉事業
事務費支出	3,548,938	事務管理費
助成金支出	5,949,390	助成事業・共募配分事業
事業活動支出計	29,253,782	

2 重点施策への取り組み

生活支援サービス体制の整備に向けて、市や地域包括支援センター等と連携し、市全域における意見交換連絡会を開催したほか、たんぼぼサービスや車椅子専用車のサービス提供体制・周知について検討を行った。また、地域で支える福祉社会の形成に向けて、高齢者・障がい者理解を促す福祉教育として、認知症に関する映画会、聴覚障がい理解講座等を実施した。

3 主要な施策の成果

(1) 地域福祉活動

生活支援体制整備業務を受託し、志木市における総合支援事業の構築に向けた協議を行った。また、小地域活動を推進するため、サロン活動の会場費や保険料等を支援したほか、運営相談や事業企画に関する相談・調整を行った。

① 生活支援体制整備業務（市からの委託事業）

- ア、第1層協議体の実施 7回
- イ、第2層協議体支援 21回
- ウ、講演会等実施・支援 2回（市全域、館・幸町）
- エ、サロン設立準備相談 10か所
- オ、生活支援体制整備関連研修会への参加 15回

② 小地域サロン活動の支援

- ア、活動相談 32か所
- イ、運営支援 26か所
- ウ、サロンスタッフ養成
 - 子育てボランティア養成講習会 親子6組参加
 - 子ども食堂ボランティア養成講座 27人参加

エ、子ども食堂立ち上げ支援事業 年3回、延べ49人参加

③ ふれあい健康交流会（市からの受託事業）

ア、定例実施分 30回、参加者635人参加

イ、ボランティア協力 5団体、30回、延べ259人参加

ウ、全体イベント 1回、参加者55人、ボランティア21人参加

エ、料理ボランティア研修会 5団体、1回、延べ27人参加

④ 家族介護者交流事業（市からの受託事業）

実施日	主な内容	会場	参加者
6 / 28	日帰り温泉とお芝居観劇	川越湯遊ランド	介護者16人
11 / 11	認知症に関する映画会「僕がジョンと呼ばれるまで」&意見交換会	いろは遊学館	介護者12人 協力者 3人
2 / 28	介護者日帰りバス旅行	花園フォレスト、JA 花園農産物直売所	介護者17人

⑤ いろはカッピ一体操事業の運営・調整

ア、市委託業務分(公共施設4箇所)

実施会場	実施頻度	実施回数	登録人数	参加人数(延べ)
市民体育館	毎週水曜日	98回	86人	2, 864人
総合福祉センター 秋ヶ瀬スポーツセンター	毎週金曜日	94回	57人	2, 038人
福祉センター	毎週月曜日	90回	61人	1, 601人
第二福祉センター 市民会館	毎週金曜日	96回	74人	1, 952人
合計		378回	278人	8, 455人

(1会場・1回あたり22.37人)

イ、小地域サロン分

実施地域	15地域(市場、東町、双葉町、ファイブハイツ、中野、城、柳瀬川、いきいきサロン、上木町、宗岡三区、宗岡四区、宗岡五区A、宗岡五区B、宗岡六区、ふれあいサロン)
実施回数	340回
参加人数	延べ4, 804人(1会場・1回あたり平均14.13人)

⑥ スマイル体操

実施会場	志木市福祉センター1階多目的室
実施回数	47回(毎週土曜日)
参加人数	延べ1, 221人(1回あたり平均25.98人)

⑦ 歌声サロン

実施会場	志木市福祉センター1階多目的室
実施回数	47回(毎週日曜日)
参加人数	延べ631人(1回あたり平均13.43人)

⑧ ラジオ体操

実施会場	志木市福祉センター 1階多目的室
実施回数	47回（毎週土曜日朝）
参加人数	延べ423人（1回あたり平均9.00人）

(2) ボランティア・市民活動センターの運営

ボランティア・市民活動センターを志木市総合福祉センター 1階（休館中は東館 2階）に設置し、ボランティア関連の保険窓口業務及びボランティア活動保険の補助を行い、ボランティア活動を行う人・団体の活動支援を行うほか、さまざまな障がい者を支援する技術習得講座、地域に向けた障がい理解講座などを開催した。

また、次代を担う子ども達に福祉や障がい、ボランティアに対する理解の促進を図るため、小中学校を中心として福祉体験学習を推進するとともに、現状の課題を解決するため、福祉教育に関する研修会や協力者の連絡会議などを行った。

① 地区民生委員・児童委員協議会への参加（3地区） 30回

② ボランティアに関する相談・調整・情報提供 60件

③ ボランティア活動団体助成金申請支援

助成案内送付	6事業	延べ88団体
助成申請支援	3事業	6団体
助成決定数	1事業	3団体

④ ボランティア関連保険

ア、窓口受付

ボランティア活動保険	1,706人
ボランティア行事用保険	519件
福祉サービス総合補償	2件
送迎サービス補償	1件
事故対応	3件

イ、ボランティア活動保険補助 1,013人、202,600円

⑤ ボランティア体験プログラムー福祉学園ー

ア、事前オリエンテーション 60人参加

イ、体験学習 24コース、延べ79人参加

ウ、ふりかえりの会 36人参加

⑥ ボランティア育成

ア、学校福祉教育協力ボランティア講座 9人参加

イ、おもちゃドクター養成講座 6人参加

ウ、はじめてのボランティア講座

エ、手話奉仕員養成講習会入門課程（市からの受託事業） 35人参加

オ、手話奉仕員養成講習会基礎課程（市からの受託事業） 15人参加

カ、朗読講習会 19人参加

キ、点字講習会 8人参加

ク、傾聴ボランティア養成講座 10人参加

⑦ 学校における福祉教育

ア、福祉体験実績

小学校 8校、62件

中学校 4校、18件

イ、福祉教育を目的とした福祉機材の貸出 6種類、延べ48件

ウ、朝霞地区四市福祉教育研修会（2日間） 115人参加

⑧ 地域福祉教育

ア、聞こえない人の気持ちを考える講座 21人参加

イ、認知症に関する映画会 63人参加

(3) 在宅福祉事業

高齢者や障がいのある人などが地域生活を送るための在宅福祉サービス事業を行った。また、介護保険や日常生活用具などの福祉制度を利用できない市民（会員）に対し、車椅子など在宅で生活する上で必要となる福祉機材等について貸出を実施した。

① たんぽぽサービス事業

ア、年間活動時間 3,246時間50分

イ、年間活動回数 2,531回

ウ、サービス内容別活動時間

サービス内容	合計(時間)
買い物代行	175.0
外出（散歩、通院、買い物等）の支援	445.5
部屋の掃除、家具の移動、電球取替等家の補修など	1,810.0
ゴミの梱包、ゴミ捨て	23.3
庭の手入れ（草むしり、庭木剪定など）、雪かきなど	115.0
話し相手、見守り	300.0
その他（PC指導、料理、保育、その他）	378.0
合計	3,246.8

エ、登録者数 利用者129人、協力員32人

オ、会議・研修

・協力員会議 2回、延べ26人出席

・協力員新任研修 4回実施

② 車椅子の貸出 延べ81件

③ 車椅子専用車の貸出及び福祉有償運送事業

ア、車椅子専用車貸出 214件

車両別実績	夢ふれあい号	友愛号	いろは号
	57件	98件	59件
利用者別実績	高齢者	障がい者	その他
	24件	190件	0件

イ、運転ボランティア紹介

運転ボランティア 8人、延べ64件

(4) 共同募金配分事業

共同募金配分金（地域歳末たすけあい募金配分金）及び社協会費、寄附金を活用し、地域福祉及び在宅福祉を推進するための本会独自事業を実施した。

① 地域福祉活動助成金審査委員会 1回

② 地域のつながりづくり支援

ア、地区敬老会支援 21地区、653,300円

イ、世代間交流支援 29地区、904,800円

ウ、福祉施設訪問支援 1団体、1事業、3,900円

エ、在宅高齢者訪問支援 5団体、15事業、127,200円

③ 地域活動支援 38地区、1,181,300円

④ 生活を支える活動支援

ア、生活サポート活動支援 16団体、430,000円助成

イ、社会参加支援 11団体、21事業、444,400円助成

ウ、障がい者交流支援 1団体、1事業、20,000円助成

エ、戦没者遺族会活動支援 1団体、150,000円助成

⑤ ボランティア活動保険補助 1,013人、202,600円

⑥ 介護用品購入支援事業

食事用エプロン2枚組	45組
すべり止めマット	42枚
防水シート	127枚
ポータブルトイレ防臭剤	30個
プラスチック手袋300枚	148組
手指消毒液	67個
利用者	276件

⑦ 地域でつながる子育て応援事業（カパルリュック、子育て応援本のお渡し）

いろは子育て支援センター	90世帯
西原子育て支援センター	91世帯
宗岡子育て支援センター	43世帯
どろんこ子育て支援センター	23世帯
利用者	247世帯

サービス区分	3 生活福祉資金貸付事業に要する経費
--------	--------------------

事業の概要 低所得者、障がい者、高齢者、離職者に対し、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉、社会参加の促進を図り、安定した生活を援助するため、実施主体である埼玉県社会福祉協議会と連携を図りながら、資金貸付の窓口として、必要な援助・指導及び事務を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	1,415,000	職員人件費
事務費支出	173,000	事務管理費
事業活動支出計	1,588,000	

2 重点施策への取り組み

実施主体の埼玉県社会福祉協議会をはじめ、志木市健康福祉部福祉課、ジョブスポットしき就労支援センター、志木市生活相談センターとの連携を図り、生活困窮世帯等に対する支援について迅速かつ適切な対応に努めた。

3 主要な施策の成果

(1) 貸付相談

低所得者、障がい者、高齢者、離職者等の生活に困った世帯に対し、相談援助を行うとともに、必要に応じ生活福祉資金貸付制度により資金の貸し付けを行い、その世帯の経済的自立や社会参加を促した。

相談件数
30件

(2) 利用件数

貸付者に対し、生活安定のための相談援助を行うとともに、滞納者に対する債務相談を行うことにより、経済的自立や社会参加を促した。

新規利用	償還完了	償還免除	償還・据置中
6件	10件	0件	123件

(3) 会議・研修

外部研修 1回、1人参加

サービス区分	4 相談支援事業に要する経費
--------	----------------

事業の概要 福祉総合相談を基本に、相談者の課題解決に向けての福祉サービスや社会資源などの情報提供や調整等に取り組んだ。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	15,523,838	職員人件費
事業費支出	31,040	講師謝礼等
事務費支出	2,722,933	事務管理費
事業活動支出計	18,277,811	

2 重点施策への取り組み

生計不安や権利擁護など、多問題を抱える世帯の支援のため、民生委員・児童委員、地域包括支援センターなどの関係機関と連携しながら、あらゆる分野への支援を行ってきた。

また、自立支援協議会暮らし部会や相談支援事業所連絡会に参加し、志木市の障がい福祉サービスの現状把握を行いつつ、困難事例を担当する相談支援専門員へのサポートとして、助言や同行、研修会などを行い、専門員のスキルアップを図った。

3 主要な施策の成果

(1) 相談支援事業

地域住民の抱えるさまざまな課題に対応するため、幅広い分野の情報を収集し、総合相談体制を整備するとともに関係機関との連携を図り、各々の福祉ニーズに即した総合的な相談援助を行った。また、障がい者や障がい児の保護者等からの相談に応じ、福祉サービスや社会資源を活用するための支援を行ったほか、専門機関の紹介や関係機関との連絡調整などを行った。その他に、志木市から指定を受け、障がい者や障がい児が在宅生活に必要な障がい福祉サービスを適切に受けられるよう、サービス等利用計画を作成した。

① 福祉総合相談件数 102件

電話	来所	訪問	同行	関係調整	その他
24件	27件	10件	5件	27件	9件

② 障がい者等相談支援事業所 1,508件

ア、相談件数

電話	来所	訪問	同行	関係機関	個別会議	その他
699件	58件	68件	29件	585件	50件	19件

イ、障がい別相談件数（複数相談あり）

身体	知的	精神	発達	高次脳機能	難病	その他
159件	289件	1,045件	61件	44件	45件	1件

③ 計画相談支援 119件

ア、契約件数

新規契約	契約終了	延べ契約
8件	20件	119件

イ、障がい別契約件数

身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい
22件	60件	15件	22件

④ 認定調査 年12回、29件

(2) 連携強化事業（相談支援従事者等スキルアップ研修）

相談対応から出てきた課題を解決するために、研修会を実施し、地域で支援を行っている相談員・支援者と課題を共有し、対応する方法を学んだ。

実施日	会場	テーマ	参加者
3/20	市役所301	「薬物使用者への支援の流れと連携の在り方」	26人

(3) 会議・研修

- ① 会議・研修 12件、18人参加
- ② 地区民生委員・児童委員協議会への参加 14回
- ③ 自立支援協議会等 15回

サービス区分	5 法人後見事業に要する経費
--------	----------------

事業の概要 障がいや疾病等により判断能力が低下し、一人で生活していくのに不安がある人を対象に、生活支援員が定期的に訪問し、日常的な金銭管理や書類の整理、届出などを支援した。また、日常生活を営む上で判断能力が充分でない高齢者、知的障がい者、精神障がい者などが安心して生活できるよう、法人として成年後見人を受任し、財産管理や身上監護を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	7,810,685	職員人件費
事業費支出	436,357	諸謝金、通信運搬費等
事務費支出	364,100	事務管理費
事業活動支出計	8,611,142	
法人運営へ繰出	2,757,644	
支出合計	11,368,786	

2 重点施策への取り組み

権利擁護を推進する社会福祉協議会の立場から、住民の権利を守りながら、住民が抱えている諸問題に対して、行政、地域包括支援センター、地域活動支援センター、相談支援事業所、居宅介護支援事業所等関係機関と連携を取りながら取り組んだ。また、様々な背景をもった利用者、相談者への対応を強化するために、生活支援員とともに研修会等へ参加しスキルアップを目指したほか、利用者にとってより良い支援を提供できるよう専門員や生活支援員との情報の共有、的確で具体的な指示等連携を強化した。さらに、適切な権利擁護事業の利用を進めるために、あんしんサポートねっとから成年後見制度への移行支援を行い、市民後見人へ引き継ぎを行った。

3 主要な施策の成果

(1) 日常生活自立支援事業

① 実施体制

常勤の専門員2人（兼務）、生活支援員14人の体制で取り組んだ。

② 相談

相談日・時間	相談員	件数
月～金曜日 8時30分～17時15分	常勤職員	335件

③ 利用状況

ア、契約件数 7件

新規契約	契約終了	延べ契約
2件	2件	7件

イ、分野別契約件数

高齢者	知的障がい	精神障がい	その他
4件	0件	3件	0件

④ 普及・啓発

あんしんサポートねっとや権利擁護について、関係機関の会議等で説明する機会を設け、啓発活動を行った。

また、あんしんサポートねっとや成年後見制度の利用が必要なケースが増え、どちらを利用すべきか支援者が判断に迷うことが増えている。担当者会議等に積極的に参加し、適切な制度利用のための説明や、利用を見極めるための助言を行った。

(2) 法人後見事業

① 権利擁護推進事業運営委員会 5回、延べ41人出席

② 利用状況

ア、保佐人 2件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
0件	0件	2件	70代男性、60代女性

イ、後見人 10件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
2件	1件	10件	90代女性1人、80代女性2人、70代女性1人、60代男性1人、60代女性1人、50代男性1人、40代男性1人、40代女性1人、20代男性1人

ウ、後見監督人 5件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
1件	0件	5件	市民後見人5人を監督

③ 相談・対応件数 1, 422件

身上監護・財産管理	1, 167件
職員訪問	104件
権利擁護支援員訪問	151件

(3) 会議・研修

- ① 生活支援員会議 1回、15人出席
- ② 生活支援員研修 3回、16人参加
- ③ サービス担当者会議 13回、13人参加
- ④ 専門員会議・研修 2回、2人参加
- ⑤ その他会議・研修 5件、8人参加

(4) 事業説明

視察（取材）対応等 10件

サービス区分	6 成年後見支援センターに要する経費
--------	--------------------

事業の概要 日常生活を営む上で判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの生活を守る成年後見制度の普及啓発業務をはじめ、制度の利用に関する市民等からの相談に応じ、制度に関する情報を広く発信した。また、市民後見人の育成と活動支援を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	5,795,006	職員人件費
事業費支出	1,601,381	講師謝礼等
事務費支出	1,863,613	事務管理費
事業活動支出計	9,260,000	

2 重点施策への取り組み

成年後見制度の普及啓発として、権利擁護講演会や市民後見人養成講座の実施、地域に出向いて制度説明等を行う出前講座を通じて、市民後見人の普及啓発に努めた。

また、法人後見事業から市民後見人へのリレー方式以外であんしんサポートねっとからダイレクトに選任された市民後見人が誕生した。さらに、市民後見人が直面する課題に対し、その活動が適正に行えるよう活動支援を行うことができた。

3 主要な施策の成果

(1) 相談・手続きの支援、制度に関する情報提供等

相談員を2人配置し、成年後見制度に関する相談支援、申立手続きの支援などを行った。

① 相談件数 676件

ア、相談者別

本人	家族	行政機関	福祉機関
19件	134件	40件	71件
医療機関	地域包括	市民後見人	その他
4件	17件	271件	120件

イ、相談方法別

電話	来所	訪問	同行	メール	その他
367件	178件	16件	7件	46件	62件

ウ、相談者分野

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他
413件	150件	16件	97件

エ、相談内容（複数相談あり） 1,755件

制度全般	申立手続	権利擁護	家族問題	財産管理

119件	126件	52件	35件	366件
身上監護	相続	その他	市民後見活動支援	
468件	139件	81件	369件	

(2) 普及啓発（事業説明等含む）

市民向けの講演会・出前講座等を開催し、判断能力が低下した人を支える制度である「成年後見制度」「市民後見人」などの普及・啓発活動を行った。

① 権利擁護セミナー・成年後見制度講演会

実施日	会場	主な内容	参加者
6／9	市民会館	「なじみの地域で自分らしく最期まで暮らすための、私のネットワーク～意思決定を誰にゆだねるか～」	146人
2／24	ふれあいプラザ	「親なきあと」のわが子のために「親あるあいだ」にできること～ライフスタイルカルテに記す親心～」	86人

② 出前講座（制度・事業等説明） 10回

(3) 市民後見人の養成と活動支援

① 市民後見人養成講座 全6回、26人参加

② 権利擁護人材バンク

ア、登録者 29人

イ、フォローアップ研修 6回、延べ92人出席

ウ、バンクだよりの発行 4回

③ 受任調整会議 2回、延べ14人出席

④ 市民後見人活動支援（後見監督業務含む）

ア、市民後見人 5人（活動中5人）

イ、活動支援 271回

(4) 事業説明・視察対応等 13件

(5) 会議・研修 10件、12人参加

サービス区分	7 地域活動支援センターに要する経費
--------	--------------------

事業の概要 障がい者の意思と人格を尊重し、利用者の立場や視点に立った障がい福祉サービスを提供するため、障がい者の声をもとにした創造的活動または生産活動の機会の提供及び社会との交流を図る事業を実施した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	4,972,309	職員人件費
事業費支出	5,977,710	機能回復訓練、教室事業
事務費支出	1,369,961	事務管理費
事業活動支出計	12,319,980	

2 重点施策への取り組み

総合福祉センターの改修工事に伴い、7月以降、陶芸教室は休止となったが、その他の教室事業は、福祉センターや総合福祉センター東館を利用して利用者に支障のないように実施できた。曜日変更のあった「おとこの木あそび」は、高齢男性の社会参加を促進する場として継続的に実施することができた。体操教室は、6月まで開催し、30年度定期実施に向けて参加者が定着した。写真教室は、近隣市外他まで活動場所を広げたため、日頃、行く機会のない場所での実施が好評であった。青年学級は、参加意欲が増すよう参加者の意見を取り込み、企画を立てているため、今年度も参加者が増加した。写真教室や青年学級などの郊外活動は、ボランティアの協力を得て支援体制を強化し、安全に実施した。

3 主要な施策の成果

(1) 地域活動支援センターの管理運営

市内障がい者団体及び障がいに関わるボランティア活動団体、行政機関等から、障がい者が社会参加をするために配慮すべきことなどの意見を聞き、新年度からの事業運営に反映させた。

- ① 地域活動支援センター運営委員会 1回、11人出席
- ② 障がい者団体及びボランティア団体への活動場所の提供
7団体、39回、延べ459人

(2) 自主事業及び受託事業の実施

① 教室事業（創作的活動）

教室名	回数	参加者数
陶芸教室	6回	50人
生け花教室	11回	46人
パステルアート教室	12回	130人
料理教室	12回	133人

詩吟	12回	65人
おとこの木あそび	11回	79人
写真教室	6回	29人
体操教室	5回	50人
8教室	75回	582人

② 親と子の生活訓練（介護の指導方法）

11回、延べ84人

③ 青年学級（社会適応訓練）

6回、延べ128人

④ 機能回復訓練事業

96回、延べ582人

	実施回数	参加者数
月曜日	48回	334人
金曜日	48回	248人
週2回	96回	582人

サービス区分	8 志木市児童センターに要する経費
--------	-------------------

事業の概要 児童に健全な遊びを提供して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童福祉法に基づく目的を達成するため、各種事業を実施するとともに、施設の維持管理に努め、利用者が安心・安全に利用できる施設運営を行った。

(指定管理者)

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	19,445,668	職員人件費
事業費支出	564,844	自主事業
事務費支出	2,354,198	建物管理費
事業活動支出計	22,364,710	
法人運営へ繰出	1,500,000	積立
支出合計	23,864,710	

2 重点施策への取り組み

総合福祉センターの改修工事に伴い、秋ヶ瀬スポーツセンターに拠点を移し、宗岡子育て支援センター・学童保育クラブをはじめとする関係事業所との連携・協力のもと、宗岡地区四学童保育クラブや小学校、町内会館、公園へ出向く出張事業を拡大し、この期間ならではの地域に根ざした事業を通じて地域の活性化を図るとともに、地域の児童を見守る拠点としてのセンターの役割を周知・PRした。

また、安心安全な居場所としての機能を生かしながら、設備に応じたさまざまな遊びの提供を工夫・展開することで日々の利用者に向けての児童健全育成の場と機会の提供及び子育て親子のコミュニケーションの場と機会の提供を行い、地域に根差した健全育成を図った。さらに、児童の安全な利用に配慮して、帰宅時の声掛けや見送りに努めた。

3 主要な施策の成果

(1) 利用状況

開館日数 342日

市内利用者	市外利用者	団体利用者	合計
15,796人	1,024人	479人	17,299人

(2) 事業実施状況

事業参加者
19,387人

① 未就学児主対象事業

事業名	主な内容	回数	参加人数
児セビクス	親子体操指導と交流	175回	2,855人
なかよしランド	テーマの素材遊び	10回	393人

青空ぼけっと	公園・学童でのあそびの場	34回	287人
みんなであそぼ	身体的な集団遊び	11回	226人

ほか「よみきかせ」等4事業、延べ213人参加

② 小学生以上主対象事業

事業名	主な内容	回数	参加人数
めざせクイズ王	日替わりのクイズ	随時	4,488人
ぬりえコンテスト	課題ぬりえの品評と表彰	随時	2,313人
つくってみよう	リサイクル工作指導	随時	1,432人
学童へおじゃまし隊	学童での遊び	34回	1,274人
コマ・けん玉検定	独自検定による級位認定	随時	979人
今月の折り紙	テーマの折り紙指導	12回	782人
こどもスペシャル	普段と異なる遊び	1回(9日間)	689人
夏・冬チャレンジ会	種目の記録の計測と表彰	2回	675人
移動児童センター	遊びの出張	8回	625人

ほか「ミニ移動児童センター」等 12事業 延べ1,343人参加

③ 一般主対象事業

事業名	主な内容	回数	参加人数
プチ児童センター	催事参加による周知PR	2回	653人
児童虐待防止推進事業	虐待防止プラバン工作	1回(月間)	97人
ミニミニ避難訓練	利用者との避難訓練	4回	63人

ほか「通信・ポスター」を月1回以上発行

④ 受託事業

事業名	主な内容	回数	参加人数
交流児童センター	玩具・工作遊びと交流	24回	778人

(3) 運営委員会

児童センター運営委員会 1回、9人出席

(4) モニタリング調査

利用者のニーズを把握し、事業運営に生かした。 124人

(5) 緊急時対策

- ① 地震や火災を想定した災害時の保護者への連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送等、その場に応じた適切な緊急時対応ができるように職員訓練を行った。

毎月1回、12回実施

- ② 利用者とともに、地震や火災、不審者侵入を想定した「ミニミニ避難訓練」を行った。

4回実施、延べ63人

(6) 職員研修

- ① 外部研修(児童虐待防止サポーター研修ほか) 9件、延べ12人参加

- ② 内部研修(救急救命研修ほか) 3件、延べ17人出席

サービス区分	9 宗岡子育て支援センターに要する経費
--------	---------------------

事業の概要 子育て家庭の保護者、乳幼児等に対する支援を行うため、子育て親子の交流の場や子育て情報の提供などの事業及び子育てに関する相談・援助を実施し、児童福祉法に基づく子育て支援の拠点として、利用者が安心して安全に利用できる施設運営を行った。(指定管理者)

1 支出決算額

勘定科目	決算額(円)	説明
人件費支出	12,810,197	職員人件費
事業費支出	303,103	自主事業
事務費支出	2,582,000	建物管理費
事業活動支出計	15,695,300	
法人運営へ繰出	1,100,000	積立
支出合計	16,795,300	

2 重点施策への取り組み

子育て親子の交流が積極的に図ることができるよう「あそびの広場」を充実させ、交流の機会を提供し、促進させた。総合福祉センターの改修工事に伴う、秋ヶ瀬スポーツセンターへの移転中は、地域の町内会館や児童公園、学童保育クラブを利用し、出張ひろば「青空ぽけっと」を実施したほか、リニューアル後を見据え、継続的な利用に繋がるよう0歳児の子育て事業に力を入れた。

また、親子で表現活動を楽しむ「リトミック」やスキンシップを図る「ベビーマッサージ」など、利用者のニーズに基づいた事業を実施した。

さらに、児童センター、宗岡第二公民館と共催事業を実施し、乳幼児だけではなく児童の健全育成を目指した場と機会の提供を行いながら、宗岡子育て支援センターの周知やPRに努め、利用者の確保を図った。

3 主要な施策の成果

(1) 利用状況 開館日数342日

あそびの広場		子育て支援事業 ・相談事業等	合計
子ども	保護者		
5,188人	3,940人	9,044人	18,172人

(2) 事業実施状況

① あそびの広場

主な内容	回数	人数
自由遊びや交流の場の提供	340回	9,128人

② 広場事業

主な内容	事業数	人数
身体測定、出張ひろば、誕生日手形など	10	3,110人

③ 子育て事業

主な内容	事業数	人数
親子講座、父親の会、子育てサークル支援など	19	4,826人

④ 相談事業

職員が子育て等に関する相談を、来所・電話にて随時対応。

また、市内の関係機関と共催し、医療職などの専門職に相談できる場の提供。

ア、専門相談 39回、138件

事業名	回数	相談件数
健康相談	5回	24件
まんま相談	11回	25件
おっばい相談	12回	21件
歯の健康相談	2回	15件
保健相談	4回	31件
栄養相談	2回	9件
巡回相談	3回	13件

イ、子育て相談 312件

(単位：件)

	睡眠	食事	排泄	発育	発達 障がい	育児 一般	ストレス ・虐待	保健	家庭 地域	合計
児童	7	30	16	11	22	137	1	25	28	277
大人	0	1	0	0	0	4	8	4	18	35

⑤ リフレッシュ事業 2事業、延べ109人

⑥ ボランティア事業 2事業、延べ305人

⑦ その他 見学者及び赤ちゃんの駅利用者など 242人

(3) 緊急時対策

① 地震や火災を想定した災害時の連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送等、その場に応じた適切な緊急時対応ができるように職員訓練を行った。

毎月1回、12回実施

② 利用者と共に、地震や火災、不審者侵入を想定した「ミニミニ避難訓練」を行った。

4回、延べ63人

(4) 職員研修

① 外部研修（発達支援サポーター研修ほか） 15件、延べ24人参加

② 館外視察 1件、1人参加

③ 内部研修（救急救命研修） 3件、延べ17人出席

サービス区分

10 学童保育クラブに要する経費

事業の概要 保護者の就労等で常時留守になっている児童を保育する宗岡地区4学童保育クラブの運営を行った。また、学童保育クラブにおける児童の安全と充実した生活を確保し、自主性・社会性・創造性を培うとともに保護者との日常的な連絡、情報交換を行い、基本的な生活習慣についての援助や自立に向けた支援等、児童の健全育成に必要な活動を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	102,054,580	職員人件費
事業費支出	9,899,449	自主事業
事務費支出	8,650,571	建物管理費
事業活動支出計	120,604,600	

2 重点施策への取り組み

平成29年度は、引き続き宗岡地区4学童保育クラブを受託し、更なる学童保育クラブの受入れ人数の拡大により、児童が安心して過ごせる生活の場所を保障するための育成支援を行い異年齢児の発達理解、クラス分け、職員配置など体制・組織づくりに取り組み、特に「ヒヤリハット事例」を有効活用し事故防止に努めた。

なかでも、宗岡第四学童保育クラブは、志木市が取り組む放課後子ども総合プランにより放課後子ども教室と学童保育クラブの一体型とした放課後志木っ子タイム宗岡第四小学校受託事業者選定の提案をして、その結果受託事業者に決定した。平成30年4月にスタートするため、3月から試行期間として事業実施するとともに、その体制づくりを行った。

3 主要な施策の成果

(1) 開所日数（4学童共通）

平日244日、土曜日49日 合計293日

(2) 児童利用状況

学童名	平均在籍数	平均利用児童数	
		平日	土曜日
宗岡学童保育クラブ	61.0人	40.9人	4.3人
宗岡第二学童保育クラブ	62.0人	42.2人	12.4人
宗岡第三学童保育クラブ	47.2人	32.6人	4.2人
宗岡第四学童保育クラブ	76.0人	52.4人	7.6人

(3) 事業

	事業名	主な内容	参加人数
自主	懇談会	夏休み説明会と保護者懇談会	86家庭
	個人面談	全保護者との面談	192家庭229人
社協 関連	児童センター事業	学童へおじゃまし隊とミニ移動児童センター	35回1,303人
	宗岡第二公民館事業	読み聞かせ訪問と移動図書室	各1回288人
地域 交流	民踊流し	3年生以上の親子での参加	15組30人
	放課後子ども教室との交流	宗小放課後子ども教室児童との交流 (宗岡りんくすとの共催)	2回80人
	まちづくりイベント	上、中宗岡地区まちづくりイベントに参加	13人

(4) 緊急時対策

今年度は、集中豪雨による道路冠水等の被害があり避難勧告が発令された地域もあったため、保護者の迎え対応を行った。また、1月末に宗岡小学校で火災があり、避難までは及ばなかったが、翌日学校が臨時休校となったため学童保育クラブは開所した。

想定外の緊急時対応には、日頃の訓練、記録の大切さを痛感した。

① 学童保育クラブごとの基本訓練

緊急時の対応マニュアルに基づき、防災・防犯訓練を年1回以上実施した。

種類	主な内容	回数	参加人数
防災・防犯	不審者・緊急時対応に関する講話・集合訓練	各1回	196人
防災	災害用伝言ダイヤル体験利用（保護者）	各1回	全家庭に周知
防災	地震想定訓練（講話、防災頭巾の装着）	各2回	349人
防災	水害を想定した訓練	各1回	96人
防災	火災を想定した訓練	各1回	85人

② その他、緊急時対策

救急救命講習（「アナフィラキシー症状の理解」を含む）を28人の職員が参加した。

(5) 職員研修

① 認定資格研修 8人参加

② 外部研修 20件、67人参加

③ 内部研修 7件、105人出席

④ 学童保育アドバイザーによる勉強会 8件、230人参加

⑤ 宗岡地区小学校福祉体験授業参加

ア、アイマスク体験 8校、24人参加

イ、車いす体験 7校、28人参加

サービス区分	11 居宅介護支援事業に要する経費
--------	-------------------

事業の概要 介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、要支援または要介護の認定を受けた人のケアプランを作成し、要介護者の自立支援を行った。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	23,177,272	職員人件費
事務費支出	3,488,517	事務管理費
事業活動支出計	26,665,789	
法人運営へ繰出	4,704,659	
支出合計	31,370,448	

2 重点施策への取り組み

利用者の入退院時には、医療機関へ積極的に足を運び、在宅での生活情報を提供するとともに、疾患や予後の知識を深め、退院後のスムーズな在宅生活へ繋がられるよう居宅介護支援をした。また、地域資源とのネットワークを構築することで、サービス利用時における選択の幅を広げることができ、利用者の細かな要望に応えることができた。併せて、職場内研修を活発に行い、具体的な支援方法に関する研鑽を積むことができた。

3 主要な施策の成果

(1) 居宅介護支援

介護保険法に基づき、介護支援専門員の適正な人員配置を行い、関係事業所・機関と連携・協力し、利用者が可能な限り自立した日常生活ができるよう、継続的かつ志木市の実情に即したケアマネジメントを実施した。

① 職員体制

	平成30年3月末
常勤職員	5人

② ケアプラン数

	平成30年3月末
介護計画	延べ1,743件
介護予防計画	延べ435件

③ サービス担当者会議 272回

<主な会議内容>

認定更新結果後のサービス	94回
現在のサービス見直し	101回
初回サービス担当者会議（新規利用者）	46回
退院後の在宅復帰	24回
区分変更	7回

④ 介護予防サービス担当者会議 68回

<主な会議内容>

認定更新結果後のサービス	24回
初回サービス担当者会議（新規）	21回
現在のサービス見直し（変更・追加）	21回
その他	2回

⑤ 相談件数 52件（うちケアプラン作成件数36件）

(2) 認定調査

要介護・要支援認定申請者に対し、160件の認定調査を行った。

(3) 会議・研修

介護支援専門員として必要な専門知識、援助技術の習得を図るため、外部研修への参加したほか、法人の特長を生かしたケース検討、実務研修等を実施した。

① 外部研修（更新研修、認定調査研修等） 31件、延べ37人参加

② 志木市介護支援専門員連絡会 2回、延べ8人参加

③ 志木市要支援高齢者支援ネットワーク会議 1回、2人参加

④ 志木市地域ケアエリア会議 4回、延べ4人参加

⑤ 自立支援型地域ケア会議 4回、延べ6人参加

⑥ ケアマネージャー会議 全12回、延べ75人出席

サービス区分	12 訪問介護事業に要する経費
--------	-----------------

事業の概要 介護保険制度における訪問介護事業・介護予防訪問介護事業、第1号訪問事業、障害者総合支援制度における居宅サービス事業・移動支援事業、子育て支援のための育児サポート事業、介護保険制度外の自費契約事業等を実施した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	75,851,859	職員人件費
事業費支出	10,000	講師謝礼
事務費支出	3,770,356	事務管理費
事業活動支出計	79,632,215	
法人運営へ繰出	16,045,474	
支出合計	95,677,689	

2 重点施策への取り組み

「笑顔をモットー」に掲げ、利用者の状況に応じた柔軟なサービス提供を行った。また、会議や研修に参加し、ヘルパー一人ひとりの能力を高めるとともに、毎月ヒヤリハットや気づきの事例を用いた職場内研修を実施し、日常の業務に活かすことができた。

3 主要な施策の成果

(1) 職員体制

次の職員体制で各種制度におけるホームヘルプサービスを提供した。

	平成30年3月末
常勤職員	3人
短時間勤務職員	2人
登録ヘルパー	44人

(2) 活動時間、利用者数

各種制度等におけるホームヘルプサービスを次のとおり実施した。

区分	活動時間	訪問回数	延べ利用者数
訪問介護	12,402時間	12,853回	1,142人
介護予防訪問介護	3,576時間	3,985回	663人
居宅サービス事業	6,015時間	5,042回	533人
移動支援事業	1,658時間	2,099回	222人
育児サポート事業	23時間	23回	2人
自費契約	31時間	7回	12人
合計	23,705時間	24,009回	2,574人

(3) 研修・会議

- ① 登録ヘルパー全体研修 年6回、延べ264人出席
- ② ヘルパー地区会議 4地区、各3回、延べ111人出席
- ③ 新任研修（1年未満の新任対象） 1回、1人出席
- ④ 外部研修 21回、延べ37人参加
- ⑤ サービス提供責任者会議 12回、延べ80人出席
- ⑥ ケース検討会 45回、延べ149人出席
- ⑦ 地域ケア会議 2回、延べ2人出席

(4) サービス担当者会議 145回

身体及び生活環境の変化による業務の見直しと今後の対応について	18回
要介護認定更新に伴うサービス内容の確認	74回
生活状況及びサービス内容の確認	5回
新規訪問でのサービス提供内容について	43回
退院後の在宅復帰に向けて	5回

サービス区分	13 志木市福祉センターに要する経費
--------	--------------------

事業の概要 高齢者福祉の拠点として、高齢者が健康で明るく安全に過ごせるよう、施設の維持管理に努めるとともに高齢者の介護予防及び生活の質や教養の向上を図るため、各種教室や介護予防事業を実施した。

また、志木市老人クラブ連合会の事務局として、志木市老人クラブ連合会及び各単位老人クラブに関する諸活動の支援を行った。(受託者)

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	11,131,183	職員人件費
事業費支出	1,739,462	自主事業
事務費支出	10,401,418	建物管理費
事業活動支出計	23,272,063	
法人運営へ繰出	617,053	
支出合計	23,889,116	

2 重点施策への取り組み

地域において健康で自立した生活が続けられるよう、各種介護予防事業を実施した。

また、第二福祉センターの改修工事に伴う休館時は、第二福祉センターと連携し利用者の受け入れ強化を図った。

志木市総合福祉センターへの移転をスムーズに進めるため、利用者説明会を実施した。

3 主要な施策の成果

(1) 利用状況 開館日数 356日

市内利用者	市外利用者	合計
58,429人	601人	59,030人

(2) 利用者説明会

総合福祉センターへ移転後の施設・事業概要を説明する利用者説明会を開催し、50人の参加があった。

(3) 教室事業

年間を通じた定期講座として、高齢者の健康増進、教養の向上及び地域コミュニティづくりを進めた。

教室・事業名	回数	参加人数
書道教室1組	9回	156人
書道教室2組	9回	165人
太極拳教室	11回	211人

フォークダンス教室1組	11回	182人
フォークダンス教室2組	11回	242人
健康体操教室	11回	242人
民謡教室	11回	218人
健康レクリエーション教室	11回	189人
大人のぬり絵教室	22回	227人
9教室	106回	1,832人

(4) 高齢者まつり

高齢者の生きがいと社会参加を促進するため、作品の展示、芸能の発表等により、交流や相互協力のきっかけの場として実施した。

実施日	6 / 2～4	
参加	芸能	延べ250人
	展示	168点
来場者	約940人	

(5) 介護予防事業

健康的な自立生活が継続できるよう、介護予防、認知症予防のため運動、脳トレなど様々な観点の講座を実施した。

事業名	回数	参加人数
お気軽ころばん塾	週2回	2,390人
楽々筋トレ塾	毎日	3,017人
イキイキ脳力アップ	9回	211人
音楽療法	3回	60人
水引細工	3回	25人
元気ダンス	3回	35人
6事業		5,738人

(6) 志木市老人クラブ連合会事務局活動

志木市老人クラブ連合会事務局及び各単位老人クラブに関する事務を実施し、日常活動や事業の連絡調整、準備、決算、記録等の諸活動の支援を行った。

(7) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、消防訓練を年2回実施した。

(8) 研修

外部研修 2件、2人参加

サービス区分	14 志木市第二福祉センターに要する経費
--------	----------------------

事業の概要 高齢者福祉の拠点として、高齢者が健康で明るく安全に過ごせるよう、施設の維持管理に努めるとともに高齢者の介護予防及び生活の質や教養の向上を図るため、各種教室や介護予防事業を実施した。

また、隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢者の定期的な安否確認を行った。(受託者)

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	10,870,400	職員人件費
事業費支出	1,315,127	自主事業
事務費支出	11,837,270	建物管理費
事業活動支出計	24,022,797	
法人運営へ繰出	1,420,763	
支出合計	25,443,560	

2 重点施策への取り組み

浴室のリニューアルに伴い、衛生管理マニュアルを見直し、公衆浴場における衛生管理の向上及び安全確保を図った。また、空調設備の全面改修を実施し、施設環境の整備を図り、高齢者の日常生活の質の向上や健康増進、介護予防を推進するため、各種教室事業、介護予防事業等を実施した。

3 主要な施策の状況

(1) 利用状況 開館日数 296日

市内利用者	市外利用者	合計
32,996人	392人	33,388人

(2) 教室事業

高齢者の健康増進、教養の向上のため、各種教室を実施した。

教室・事業名	回数	参加人数
健康体操教室	9回	239人
リズム体操教室	9回	276人
太極拳教室	9回	190人
3B体操教室	9回	146人
書道教室	8回	152人
水墨画教室	9回	133人
認知症予防ゲーム教室	9回	172人
エンジョイ筋トレ教室	9回	125人

大人のぬり絵教室	8回	87人
9教室	79回	1,520人

(3) 介護予防事業

運動を中心とした健康体操や認知症予防等の講座を開催し、介護予防の推進を図った。

事業名	回数	参加人数
お気楽ころばん塾	週3回	3,593人
楽々筋トレ塾	毎日	1,109人
朝の5分間体操	毎日	—
水引細工	3回	36人
音楽療法「みんなで歌っていっぱい健康」	3回	84人
歌声ひろば	12回	583人
カーレット練習会	毎週日曜	597人
リフレッシュ体操	3回	95人
スポーツカラオケ	8回	183人
楽しく健康づくり「元気ダンス」	3回	45人
10事業		6,325人

(4) イベント事業

利用者のお楽しみ会として、企画・実施した。

事業名	主な内容	回数	参加者数
サークル発表会	登録サークルの活動発表会	1回	140人
パフォーマンス楽団・結	大道芸と歌のパフォーマンス	1回	57人
カーレット大会		8回	262人
3事業		10回	459人

(5) 隣接住宅の見守り安全確認

隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢者に対し、定期的な安否確認を実施した。

(6) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、消防訓練を年2回実施した。

(7) 研修

外部研修 2件、2人参加

サービス区分	15 多機能型事業所（生活介護）に要する経費
--------	------------------------

事業の概要 障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、利用者に障がい福祉サービスを実施した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	24,843,272	職員人件費
事業費支出	680,372	自主事業
事務費支出	3,336,835	建物管理費
就労支援支出	420,912	通所者工賃、材料費
事業税支出	36,592	作業収入に関わる消費税
事業活動支出計	29,317,983	
法人運営へ繰出	2,777,408	
工賃補填	97	
支出合計	32,095,488	

2 重点施策への取り組み

自主製品として、新商品「アクリルタワシ・フリンジ無し」などを考案したほか、「カラフルモップ」作りも利用者に定着して制作数が増し、売上も上がり増収に繋げることができた。新商品開発は、利用者へ多様な作業が提供できることになったほか、自主製品の種類が増えることで、利用者も販売活動を通して地域住民との関わりを増やすことができ、販売する楽しさを経験できた。

総合福祉センター改修工事に伴う東館1階での日中活動では、本館より狭いスペースではあったが、環境の変化を考慮し、職員同士声かけを多くするなどして、利用者への見守りや支援を行った。また、イベントや余暇活動も東館へ移転する前と同様にできるよう努めた。それによって、利用者も新しい環境にスムーズに慣れることができた。

3 主要な施策の成果

(1) 平均工賃（一人あたり）

平均月額工賃	活動内容
1,489円	自主製品販売、農作物の栽培と販売、アルミ缶回収

(2) 利用登録者数（3月31日現在）、利用状況

	利用登録者数	利用状況
つくしんぼ	20人	延べ3,735人

(3) つくしんぼの活動

① 販売活動

販売方法	回数
イベント参加（いろは親水公園まつり、志木彩愛まつり、いろは市、健康まつり、市民まつりなど）	7回
市役所内販売	12回
オープンスペース販売	4回

② 健診と余暇活動等

	活動内容	回数
健診	内科検診	12回
	歯科検診	2回
	志木市健診事業参加	1回
余暇活動等	大正琴	24回
	音楽療法	6回
	食事会	3回
	日帰り研修	2回
	外出行事	1回
	スポーツ・レクリエーション	6回
	絵画教室	12回
	リハビリ体操	43回

③ 実習体験生の受け入れ

学校名	人数	受入日数
富士見特別支援学校	1人	延べ5日

④ 避難訓練 2回、延べ48人

⑤ 会議・研修

- ア、外部研修 5件、延べ5人参加
- イ、内部研修 2回、延べ18人参加
- ウ、つくしんぼ会議 12回
- エ、常勤職員会議 13回
- オ、施設見学 1回、延べ4人参加

サービス区分	16 多機能型事業所（就労継続支援B型）に要する経費
--------	----------------------------

事業の概要 障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえて個別支援計画を作成し、利用者に障がい福祉サービスを実施した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	34,463,286	職員人件費
事業費支出	2,121,690	自主事業
事務費支出	1,719,953	建物管理費
就労支援支出	10,503,029	通所者工賃、材料費
事業税支出	1,180,447	作業収入に関わる消費税
事業活動支出計	49,988,405	
積立資産支出	10,000,000	多機能型事業所積立金
法人運営へ繰出	17,682,102	
工賃補填	148	
支出合計	77,670,655	

2 重点施策への取り組み

ひまわりでは、総合福祉センター改修工事に伴い、秋ヶ瀬スポーツセンターで活動を継続したほか、新たに、請負就労する機会を増やした。移転期間中、通所してきている利用者も多くコミュニケーションを取るなど、より丁寧に支援することを心がけた結果、利用者1人を一般就労に繋げることができた。

クローバーでは、本の分別やトイレ清掃など、新たな仕事を確保し、利用者へ幅広い作業を提供することができた。また、生活面では、利用者の健康面に配慮して、食事面をアドバイスしたり、散歩を取り入れたり、また、金銭面などのアドバイスを行った。利用者一人ひとりの特性に応じ、作業や生活面におけるスキルアップができるよう個別支援計画を基に支援した結果、利用者1人を一般就労に繋げることができた。

3 主要な施策の成果

(1) 平均工賃（一人あたり）

	平均工賃	ひまわり	クローバー
月額	21,570円	37,842円	13,339円
時給額	353円	1,191円	142円

(2) 利用登録者数（3月31日現在）、利用状況

	利用登録者数	利用状況
ひまわり	10人	延べ979人

クローバー	21人	延べ4,154人
-------	-----	----------

(3) ひまわりの活動

① 就労支援活動

活動内容	活動日数	利用者数	売り上げ(円)
弁当販売	291日	—	3,392,210
販売活動	173日	—	590,930
おやつ提供	287日	延べ56,215人	6,935,862
浴室清掃	288日	—	483,800
メール便	421日	—	48,000
東館清掃	26日	—	62,400

② 地域福祉関連事業への参加

参加内容	参加事業名	参加人数
販売活動	ノルディック・ポールウォーキング全国大会	5人

③ 会議・研修

ア、ひまわり全体会議	1回
イ、ひまわり会議	12回
ウ、常勤職員会議	13回

(4) クローバーの活動

① 就労支援活動

	就労場所	活動内容	活動者数
施設外	福祉センター	トイレ清掃	627人
	公園清掃	清掃及び除草	227人
	大村商事	分別業務	746人
	志木高校グラウンド	除草作業	12人
	志木フラワー	園芸補助作業	116人
	食堂実習	皿洗い等	9人
施設内作業		御香炉灰等	3,986人

② 実習体験生の受け入れ

種別	人数	受入日数
職場体験学習(志木中)	1人	延べ5日

③ 避難訓練

2回、延べ17人

④ 会議・研修

ア、外部研修	1件、延べ1人参加
イ、クローバー会議	12回
ウ、常勤職員会議	13回
エ、施設見学	1回、延べ2人出席

サービス区分	17 地域包括支援センターに要する経費
--------	---------------------

事業の概要 柏町及び館・幸町地区において、「地域包括ケア」（高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるようにすること）を推進する中核機関として、志木市からの委託を受けて活動展開した。

1 決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	55,298,669	職員人件費
事業費支出	3,928,680	市委託事業、自主事業
事務費支出	7,438,695	事務所管理費
事業活動支出計	66,666,044	
法人運営へ繰出	4,177,734	
支出合計	70,843,778	

2 志木市高齢者あんしん相談センター柏の杜

(1) 重点施策への取り組み

前年度に引き続き包括的支援事業を受託し、地域包括ケアシステムの構築、ネットワークの構築に取り組んだ。特に生活支援体制整備事業においては、住民主体の通いの場2か所を立ち上げることができた。また、権利擁護や個別支援についても、多職種連携による地域ケアエリア会議の開催や、関係機関との連携を行い、なんでも相談会等を通じて普及啓発も行った。

(2) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 6,868件（実人数 405人、なんでも相談会 57人）

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
4,523件	614件	1,634件	97件	6,868件

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数
高齢者世帯実態把握二次調査	民生委員調査後の二次調査	101件
ハイリスク者実態把握	調査未返信者に対する再調査	322件

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数
会議・打合せ	民生委員会会議、施設会議等への参加・打合せ	34回
活動支援	サロン活動、ボランティア団体会議への参加等	33回
出前講座	サロン、認知症サポーター養成講座等	5回

(3) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数・実人数
権利擁護・成年後見人制度関連	32件・9人
虐待関連	29件・9人

② 啓発講座

講座内容	回数・参加者数
交通安全、消費生活アドバイス	15回・357人

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数(件数)
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	2,071件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	26回
地域ケア会議	地域ケアエリア会議開催、地域ケア会議参加	12回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議等への参加	7回
生活支援体制整備	打合せ・会議・サロン支援等	52回
一般介護予防事業	訪問型・通所型サービス等の調整	14件

(5) 介護予防支援事業所

主な内容		件数(回数)
給付管理	介護予防支援 延べ878件 介護予防ケアマネジメント 延べ250件	延べ1,128件
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		100回
要介護認定申請書等の申請を代行		146件

(6) 市受託事業

① 元気づくり事業

内容	主な内容	回数	参加者数
自立支援教室	体操&脳トレ	15回	361人
百歳体操支援	体験会、活動支援、評価・測定補助等	22回	252人
地域活動活性化	サロン立ち上げ支援2か所	6回	121人

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数	参加者数
認知症カフェ	1か所の茶話会・講演会	11回	383人
サポーター養成講座	小学生へ認知症の理解	1回	113人
声かけ模擬訓練	サポーターフォローアップ講座	1回	24人

(7) 会議・研修

① 職員外部研修 30件、延べ54人参加

② その他関係会議 59回

3 志木市高齢者あんしん相談センター館・幸町

(1) 重点施策への取り組み

高齢化が進み介護認定率が上がる中、要支援認定者の介護保険サービスに制限がかかり、介護予防・日常生活支援総合事業でのサービス利用にシフトされたが、サービス資源が少なく、利用の仕方も複雑なものであるため、混乱を招かぬよう、利用者や居宅介護支援事業所へ説明し理解を促した。また、包括的支援事業における「生活支援体制整備事業」や「認知症施策推進事業」では、地域の支え合いや見守り、誰もが担い手で参加者であることを意識した取り組みを行った。

(2) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 7, 219件 (実人数 561人)

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
4, 436件	469件	2, 128件	186件	7, 219件

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数(人数)
高齢者世帯実態把握二次調査	民生委員調査後の二次調査	76件
ハイリスク者実態把握	調査未返信者に対する再調査	55件
二次予防実態把握		94件
二次予防事業参加		54人

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	42回
活動支援	サロン活動、ボランティア団体会議への参加等	87回
出前講座	サロン、町内会の講座等	22回

(3) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数・実人数
権利擁護・成年後見人制度関連	11件・7人
虐待関連	23件・4人

② 啓発講座

講座内容	回数・参加者数
法律、消費生活、交通安全アドバイス	5回・88人

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数(件数)
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	1, 964件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	43回
地域ケア会議	地域ケアエリア会議開催、地域ケア会議参加	17回

在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議への参加、受診支援等	49回
生活支援体制整備	打合せ・会議・サロン支援、フォーラム等	12回
多世代交流	保育園とサロンとの交流、保育園の見学・交流	2件
一般介護予防事業	百歳体操立ち上げ・活動支援	14回

(5) 介護予防支援事業所

主な内容		件数(回数)
給付管理	介護予防支援 延べ1,568件 介護予防ケアマネジメント 延べ40件	延べ1,608件
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		132回
要介護認定申請書等の申請を代行		209件

(6) 市受託事業

① 元気づくり事業

内容	主な内容	回数	参加者数
自立支援教室	脳活性化ゲーム&笑ふヨガ	4回	39人
百歳体操支援	体験会、活動支援、評価・測定補助等	5回	120人
地域活動活性化	サロン立ち上げ支援2か所	5回	135人

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数	参加者数
認知症カフェ	3か所の茶話会・講演会	12回	207人
サポーター養成講座	小学生等4か所へ認知症の理解講座	4回	217人
声かけ模擬訓練	サポーターフォローアップ講座	2回	65人
認知症予防講演会	相談会と併せた講演会	1回	20人

(7) 会議・研修

- ① 職員外部研修 24件、延べ24人参加
- ② その他関係会議 43回

サービス区分	18 志木市総合福祉センターに要する経費
--------	----------------------

事業の概要 利用者が安全快適に利用できるように総合福祉センター及び宗岡第二公民館の施設管理を行い、良質な施設・設備を提供した。また、大規模改修工事に伴い、総合福祉センター東館に総合窓口を設け、関係各所との打ち合わせ、リニューアルに向けた準備、利用者への説明会を実施した。(指定管理者)

1 支出決算額

勘定科目	決算額(円)	説明
人件費支出	15,596,006	職員人件費
事務費支出	17,409,063	建物管理費
事業活動支出計	33,005,069	
法人運営へ繰出	659,600	
支出合計	33,664,669	

2 重点施策への取り組み

大規模改修に係る業務として、工事が円滑に実施されるよう関係各所との打ち合わせを実施し、リニューアルオープンに向けた施設管理業務の見直しや、利用者が安心安全に利用できるよう準備を進めた。

また、東館にて総合窓口を設け、その施設管理を行うとともに、利用再開をスムーズに進めるため、利用者説明会を実施した。

3 主要な施策の成果

(1) 利用状況(4月1日から5月24日まで)

開館日数		54日
1階	利用回数	65件
ホール	利用人数	2,934人

(2) 利用者説明会

総合福祉センター改修工事後のレイアウトや施設概要等を説明する利用者説明会を開催し、53団体68人の参加があった。

(3) 事業実施状況

普通救命講習会 11人出席

(4) 防火管理・安全対策

改修工事に伴う危機管理マニュアルの見直しを行い、東館での消防訓練を年2回実施した。

- (5) 印刷機貸出及びコピーサービス（４月１日から６月３０日まで）
地域福祉を推進する団体等に、印刷機及びコピーサービスを実施した。

モノクロコピー	１９９枚
印刷機	４８件

- (6) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、４７件を集計、意見・要望を参考に利用者の声を尊重した施設運営、施設提供を進めた。

サービス区分	19 宗岡第二公民館に要する経費
--------	------------------

事業の概要 住民の教養の向上、健康を増進し、情操の純化、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、関係機関や団体と連携し各種事業を実施するとともに、利用者の誰もが安心して利用いただけるように施設の運営を行った。

また、総合福祉センターの大規模改修工事に際しては様々な工夫をし、できる限りの事業の継続を図った。
(指定管理者)

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	11,859,716	職員人件費
事業費支出	3,135,155	公民館事業、図書室事業
事務費支出	4,218,731	建物管理費
事業活動支出計	19,213,602	
法人運営へ繰出	1,630,474	
支出合計	20,844,076	

2 重点施策への取り組み

総合福祉センター大規模改修工事に伴い、7月から休館となったため、利用者に人気の高い料理講座、健康講座は休館前に実施することで、多くの人に参加をいただいた。

休館中については、高齢者大学「寿大学」は、会場を福祉センターに変更して実施したほか、読み聞かせ事業についてはボランティアと協働して介護施設や保育園等の施設に出向く形で行うなど、可能な限り継続をした。

宗岡第二公民館図書室は、休館中も総合福祉センター東館に臨時窓口を設け、予約した資料の貸出・返却等の業務を行い、住民へのサービスを継続したほか、平成30年度リニューアルオープンに向け、資料の点検、修理作業を行なった。

3 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況 開館日数 91日 (4月1日から6月30日まで)

	施設名	利用人数
3階	301会議室	1,193人
	302会議室	473人
	303会議室	831人
	304会議室	1,575人
	305会議室	1,339人
	306会議室	1,199人
	和室	116人
4階	調理室	657人
	トレーニング室	2,109人

	美術工芸室	668人
5階	多目的室	1,459人
	合計	11,619人

(2) 事業実施状況

① 自主事業

分類	主な内容	回数	参加者数
高齢者事業	寿大学	13回	261人
一般成人事業	生活講座、健康講座	2回	48人 (保育7人)
家庭教育・子育て支援・図書室関連事業	よみきかせ、映画会、移動図書室、リサイクル図書フェアなど10事業	49回	1,950人
地域福祉・地域連携事業	おとこの木あそび、パステルアート、子ども会料理教室	24回	214人
10事業		88回	2,473人 (保育7人除く)

② 陶芸用電気炉利用状況

延べ14回（素焼き5回、本焼き9回）

③ 図書室運営 開館日数 352日

ア、利用者数

児童	青少年	一般	団体	合計
505人	77人	2,994人	251人	3,827人

イ、貸出資料数

児童書	一般書	雑誌	AV資料	合計
7,719点	5,174点	1,204点	1,055点	15,152点

ウ、リクエスト受付

児童書	一般書	雑誌	AV資料	合計
453件	2,006件	385件	176件	3,020件

エ、図書室ボランティア

読み聞かせボランティア（えほんであそぼ） 年間13回、延べ30人協力
宗岡第二公民館サポーター（ニコサポ） 年間延べ235人協力

(3) 防火管理・安全対策

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、年2回の消防訓練に参加した。

(4) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、610件を集計、意見・要望を参考に利用者の声を尊重した施設運営、施設提供を進めた。

(5) 会議・研修

外部研修 5件、延べ10人参加

サービス区分	20 自動販売機の設置に要する経費
--------	-------------------

事業の概要 本会が行う社会福祉事業または公益事業に充てるため、市内公共施設内等に自動販売機を設置した。

1 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
事業費支出	51,904	行政財産使用料
事務費支出	44,000	電気代
事業活動支出計	95,904	
法人運営へ繰出	409,063	
支出合計	504,967	

2 主要な施策の成果

自動販売機設置場所及び内容

設置場所	設置内容	設置期間
総合福祉センター	清涼飲料水 4 台	平成29年4月1日から平成29年6月30日まで
福祉センター	清涼飲料水 1 台	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
第二福祉センター	清涼飲料水 1 台	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで (平成29年9月1日から平成29年10月31日除く)